



1 水工のWSで学生活躍!



水戸工業高校のワークショップで活躍する本校の学生



9月25日(水)、県立水戸工業高等学校の情報技術科2年生を対象に、「アイデアソン」(WS:ワークショップ)が実施されました。これは「いばらきP-TECH」の事業の一環で、社会で活躍する未来のIT人材の育成を目指す取り組みです。

今回の「アイデアソン」では、本校の学生がメンターとなり、高校生の新たなアイデアに対し、イノベーションの創出や事業における問題解決に向けてアドバイスしていました。



高校生からは「自然災害から身を守る」、「ゲームで認知症予防」、「食品ロス対策」等のテーマが出されました。担当した山田真生(勝田高卒)さんは「とても自発的な高校生で、斬新なアイデアが多く楽しくアドバイスできました」と笑顔で振り返っていました。

2 みんなの母校訪問⑩

県立水戸工業高等学校

明治42年、茨城県における工業教育機関の先駆けとして創立され、工業化学、機械、電気、情報技術、土木、建築の6学科を有し、校訓「至誠・勤勉・協同・敬愛・質実・剛健」のもと、自ら考え行動し、時代の流れに対応できる人材育成を目指しています。久松政信校長からは、「次代を担う学生諸君、頑張れ!!」とエールを頂きました。



久松政信 校長

3 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

<記事トレ>日本経済新聞(2024年10月10日)

首相就任8日後は戦後最短

衆院解散

●飛田美優さん(勝田工高卒)

◇要約:衆院解散とは、衆院議員の任期が終了する前に、すべての衆院議員を選挙により選びなおすこと。

今回の解散は2021年の10月以来となり、首相就任から解散までの期間、投開票までの期間はいずれも戦後最短となった。

◇感想:私たち18歳にとって、今回の解散による選挙が初めて投票できる選挙となる。

少しでも今より暮らしやすい日本となるように、投票するときにはしっかりと自分の考えを持ち、候補者に思いを託したいと思う。

●高木皓貴さん(水戸啓明高卒)

◇感想:18歳から選挙権を持つようになって初めての選挙となる。

日本国民の一人として自覚をもって、日本がより良くなるように慎重に考え投票したいと思う。

●村澤伸哉さん(勝田工高卒)

◇感想:過去十数年、4年の任期を迎える前に衆院解散をしてきたが、今回の首相就任8日後で衆院解散したことは驚いた。

私も成人して初めての選挙となるので、積極的に政治に参加して、自分たちの未来を決めていきたい。

●木元心結さん(多賀高卒)

◇感想:私は今回の衆院議員選挙が初めての選挙になるので、きちんと投票しようと思う。若い年代の投票率の低さが問題になっている。

対策としては、ネットで投票できるようにするとの記事を見て、ITの力が広がっていくのを感じた。



●富永誠也さん(太田一高卒)

◇感想:岸田政権で自民党の支持率がかなり下がった。これから石破さんが自民党の代表になり、どのように変わっていくのかが楽しみである。また、野党がどのくらい議席を伸ばすのかにも注目していきたい。

